

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	年齢や認知症の症状にもよるが、朝食後すぐに眠ってしまう方が多く、午前中の過ごし方が不活発な方が多い。そのため各利用者様ごとに「生活活性化シート」を作成し表にして張り出しをしているが、スタッフの意識が薄かったり、ご本人の状態によっては意欲を引き出せない場合もありうまく活用出来ていない。また現在、認知症の進行防止と身体機能の維持のため回想法を取り入れているが、今後も利用者様の生活が活性化され、生き生きとした表情で過ごせるためには他にも何か新しい取り組みが必要である。	・認知症の進行防止・症状の緩和及び身体機能の維持	・生活活性化シートが有効活用できるように、再度全利用者様のアセスメントを行い、回想法から得た情報なども盛り込みながら、新たに作成し直し実施する。回想法についてはこのまま継続するが、楽しみながら認知症の進行防止や身体機能の維持ができるように、音楽・歌・リズム体操等を取り入れていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。